

JAAC だより

夢を見、目標を立て、現在に最善をつくす

JAAC 日米学術センター
代表 高瀬 永俊

12月に入り、寒さが一段と厳しく感じられるようになってきました。平成の激動期に突入して早一年。新政権の誕生が日本の未来を変速、加速させてくれると我々の期待値は高まってきていますが、現実はまだまだ安息出来ない状況です。世界の環境（政治、経済、教育、自然環境、人間の生き方など）が大きく変化していく中、自分自身の生き方を見つめるには、逆に良い機会なのかも知れないと思っているのは私だけでしょうか。

新年の創刊号で“自分の値打ち”と題して現在置かれた自己の環境の中で、目標に向かって一気に進むのは無理だとしても、毎日の営みをコツコツと積み重ねることが大切であるとお伝えしました。今年一年は皆さんにとって日々の営みをコツコツと積み重ねることが出来た一年だったでしょうか。

日々の営みをコツコツと積み重ねるのですが、自分の人生に限りない夢や願望があつてこそ、それを実現させたいという目標が生まれます。欲望や願望を抱くことは従来、欲が深いとか夢ばかりを追っている、などと否定的に捉えられる傾向がありました。しかし、理想をおろそかにする功利的な人々は真の自分を見失い、自分の責任を持たない人間像を形成すると思います。夢などは一銭にもならないと思っている人もいるかも知れません。しかし、人生いくつになっても夢を持てるのです。特に皆さんはまだまだ若い、自分の人生に限りなく自分の夢を描くことは出来るのです。そろばんだけを媒介として生きることは、逆に人生の大部分を損失させることになると思います。

夢を持つだけでも、人生が輝きます。その夢が人生の目標設定によって実現出来るならば、私たちの人生はまさに黄金のレールを歩むことになると思います。

— 目標を達成するために —

- 1) 目標は、自分自身が心から欲している願望であり、その願望に確固とした信念を持つこと。
- 2) 明確な目標、実現可能な目標であること、やりがい、生きがいのある目標であること。
- 3) 個人（学業、スポーツ、芸術など）、家族、社会の総合的な目標設定をすること。
- 4) 目標は長期、短期、有形、無形に分けることが出来る。
- 5) 目標を設定したら、紙に書くこと。（書く作業をすることによって脳に浸み込ませる）
- 6) 身近な欲求からスタートさせること。
- 7) 毎日見て、声をだして読むこと。（壁、机の上、ノート等に記入して身近に置く）
- 8) 行動は継続し、習慣化する（三日坊主の繰り返しでも大いに良い）
- 9) 達成した時のことをイメージする。
- 10) 信じて疑わない。

来年を見据えて、自己の目標設定をしてみよう。机に向かって一人考えてみましょう。出来れば静かな空間が良いと思います。今年、一年の自分を省みて、更なる飛躍の来年に向かっていきましょう。

来る、新年が皆さんにとって実りあるものであることをお祈り致します。

2009年を振り返ると・・・

(カリフォルニア事務局 照井 紀久夫)

この2009年という年も、色々なことがありましたね。そこで、一般人の立場として今年を振り返り思ったことは、今年の日本の社会情勢は、2008年から2009年にかけてのアメリカの社会情勢に良く似ている、ということです。2008年はご存知の通り、アメリカではサブプライムローン問題が発覚し、リーマン・ブラザーズ証券が倒産しました。いわゆる、リーマン・ショックの引き金になったあの出来事です。リーマン・ショックの影響は瞬く間に世界中を駆け巡り、ご当地アメリカでは元々のサブプライムローン問題から多くの人々が自分の家（マイホーム）を失いました。経済、産業界は大きな打撃を受けて、大企業と言われていた企業であっても、そのいくつかは倒産に追い込まれ、失業者が増大しました。そして、アメリカを代表する、いや、世界を代表していたアメリカ3大自動車メーカー“ビッグ・スリー”がアメリカ政府に対して公的資金注入の申請を出しました。これらは、アメリカの政権が共和党から民主党に変わる直前に起きたことで、今年に入ってオバマ大統領が就任した時から頭を悩ませていたことの一つでした。そして、オバマ政権になってからも、政権発足前に公約していたマニフェストの内容そのままの実行が難しくなり、マニフェストの修正や変更、さらには見送り、取り止めという事態に追い込まれています。その結果として、必然的にオバマ大統領の支持率も低下してきました。

ここに記したいいくつかの固有名詞を日本の社会に当てはめながら置き換えてみると、今年の日本の社会情勢を言い表すことができると思います。それは、だいたい次のような出来事になります。リーマン・ショックの影響を引きずりながら、経済が低迷している日本社会でも多くの企業が倒産に追い込まれ、さらなる失業者を出しました。それに伴い、多くの人々が住宅ローンを支払えず、“住宅ローン破綻者”が増大し、現政府も何らかの策を講じざるをえなくなりました。日本の航空業界を代表する、いや、世界に名だたるあの“JAL 日本航空”が破綻寸前までに追い込まれ、日本政府からの公的資金運用の申請を行いました。あの JAL が、まさかの公的資金・・・??、という思いです。また、“民主党政権”に変わった直後から“鳩山首相”は難しい局面を迎えることとなり、公約したマニフェスト通り実行できない案件も出てきています。それはそのまま、鳩山政権の支持率低下に結びついてきているようにも思われます。さらに、その他の2008年と今年の共通点として、“円高”傾向が挙げられると思います。1年前の2008年12月には1\$=80円台後半となり、この円高が『吉』となるか、『凶』とでるか、と様々な憶測が飛び交いました。そして、今年も9月以降から円高傾向が続き、一時は1\$=83円台となりました。取り立てて言うほどのものではないのかもしれませんが、“アメリカと日本”、とても良く似ているような気がします。

さて、今度はカウンセラーの立場として、今年を振り返ってみましょうか。今年は、『非常に気を揉んだ年』と言えますね。その理由の一つは、『新型インフルエンザ A (H1N1)』の世界的大流行（パンデミック）でした。夏休みに日本に帰省する JAAC 生が感染していないか、また、逆に日本で感染してアメリカに戻るのではないかとか、長い休みの時には本当に気が休まる時がありませんでした。カリフォルニア事務局がある UCI (カリフォルニア大学アーバイン校：以下、UCI) でも毎年、多くの日本の大学生英語研修グループが訪れますが、その内のいくつかのグループが、感染する可能性を考慮して UCI での研修を取り止めました。このような事があると、余計に気を揉むものです。保護者の皆さんも同じお気持ちではないでしょうか。色々な国や地域から集まってきた学生集団の中では、感染者が出る可能性が高いのも事実なのです。この冬休み中も、多くの JAAC 生がミズーリとカリフォルニアから帰省されることでしょうか。日本滞在中は身体と体調の変化に注意を払い、万が一、感染の疑いがあると思われる場合は、適切な処置を受けられるようお願いいたします。

もう一つ、気を揉んだことがあります。それは何と言っても、JAAC 生の『就職』と『就職活動』ですね。昨年から今年にかけて就活をした JAAC 生が無事に就職できたか、また、来年、就職予定の JAAC 生の就活は順調にいつているとか、心配は尽きませんね。でも、考えてみれば、私達よりも実際に就活をしている本人が一番大変な時期を過ごしているんですよ。10月1日現在の厚生労働省と文部科学省の共同調査の結果によると、来年の大学卒業予定者の就職内定率は62.5%で、前年同期を7.4ポイント下回るそうです。男女別にみると、男子は63.3%（前年同期6.5ポイント減）、女子は61.6%（前年同期8.5ポイント減）です。この数字からも分かるように、年々、就職が厳しいものとなります。しかし、JAAC 生の皆さんは、日本の大学生が持ちたいと願っていても持つことができない、“海外大学卒業生”という大きな資格を持っているのですから、その資格を有効に活かすよう努めてください。アメリカにいる日本人留学生には、留学生なりの就活の仕方があります。就職フェア、ジョブ・フェア、キャリア・フォーラムと言った就職説明会やセミナー等から多くの情報を得るように心がけ、万全の準備を進めていきましょう。

それでは皆さん、1年の疲れを癒せるような冬期休暇をお過ごしください。来年もよろしくお願いたします。

【編集後記・今年書き納め】いや～、今年も色々な事があつた。こういう時のために『激動の一年』と言う便利なことばがあるが、今年は『激動』とは少し違う気がする。あえて言うのであれば、『変化』の年だと私は思う▼来年の春の就職に向けて、大学卒業見込み者の就職内定率は62.5%（10月1日現在）と発表された。現在でも就職が決まらないまま新年を迎えることになる学生が大勢いる。彼らの中には意図的に留年し、次年度の新卒者としての就職活動を目指す者もいる。何とか、仕事が決まることを心から願っている◆それにしてもビックリした！あのJALが公的資金による再生が必要だと言う。以前から経営難だとは言われていたものの、ついにここまで来たか、という感じだ。アメリカの航空会社がJALに資金を提供するという話もあるが、これからどうなることやら。私が留学生だったころは、アメリカの大都市空港に行った際に、ジャンボ機の垂直尾翼に描かれた独特の“鶴のマーク”を見ると、遠く離れた日本のことを懐かしく思っていた（涙）★しかし、この円高はいつまで続くのだろうか。一般旅行者や留学生には有利に働いても、自動車メーカーに代表されるように製造、生産した物を輸出する企業にとっては本当に頭が痛い状況だろう。いや、大企業であれば“頭が痛い”だけで済むかもしれないが、中小や弱小と言われている同種の企業はおそらく“全身がボロボロ”だろう。どの時期から政府が介入するのだろうか▲日本の整備新幹線計画が着々と進んでいるようだ。来年、東京と新青森間を結ぶ新型新幹線が国内最速の時速320キロでの走行を成功させた。この新幹線が運行すると、東京～新青森間は3時間半で結ばれると言う。鉄道利用者には嬉しい話だが、ただでさえ利用客減少に悩んでいる航空会社にとっては、さらに辛い話になりそうだ■今年も残すところあと何日、という言い方が似合う時期になった。今年も本紙はこれが年内最終号となる。毎号に書き添える『編集後記』も12回目。今年書き納めだ。また、来年もよろしくお付き合いください。（照井）

Let me remind you . . .

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、大切なお案内です★

■新型インフルエンザA (H1N1) 検査で陽性となった場合は、速やかにJAAC担当カウンセラー、又は、下記のいずれかの連絡先に必ずご連絡いただけますようお願いいたします。特に、帰省中に日本国内での感染が発覚した場合、医療機関の判断により再発米の時期を変更せざるをえない場合があります。その際には、留学している大学への連絡が必要となります。体調の変化に注意を払い、万全な予防処置を講じられるようお願いいたします。

◆年末年始に帰省される皆さんへ： 航空券の準備は大丈夫ですか？ アメリカへの再入国時に必要な入学許可証（I-20）の手配は済みましたか？ 必ず学校の留学生オフィスなどで最後の確認を行ってください。

●JAAC本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

◎ JAAC日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp

◎ カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp 新井 koheiarai@hotmail.com

冬季休業期間と緊急連絡先のご案内

JAAC日米学術センター並びに同カリフォルニア事務局とミズーリ事務局は、以下の日程を冬季休業期間とし事務局の営業をお休みいたします。つきましては、休業期間中の緊急連絡先をご案内させていただきますので、ご確認ください。

【JAAC日米学術センター本部】12月28日（月）～1月5日（火）緊急連絡先：090-2775-3168（鈴木携帯）

【JAACミズーリ事務局】12月22日（火）～1月3日（日）緊急連絡先：573-450-3930（ライモン携帯）

【JAACカリフォルニア事務局】12月19日（土）～1月3日（日）緊急連絡先：949-910-6806（業務用携帯：新井）

※同事務局の照井の連絡先：日本の自宅電話/Fax：047-328-1070・日本の携帯：090-6713-8182

Season's greetings from all of us at JAAC.

May the New Year bring joy and peace to you and to those you love.

Our sincerest wishes for happy holidays.

ご家族の皆様におかれましては喜びと平穏な日々と

素晴らしい新年をお迎えになられますことを心よりお祈り申し上げます

JAAC 日米学術センター